



〈学校教育目標〉夢をもち 自ら動き たくましく生活する 児童の育成

校長だより



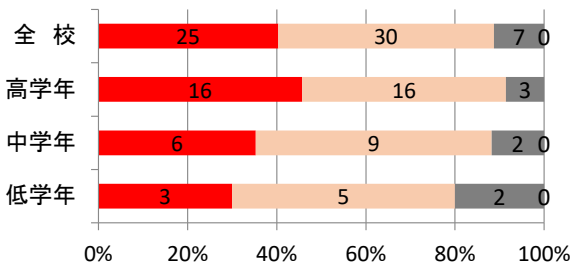
呉市立音戸小学校 校長 平本 悟 令和4年7月21日 第11号

□保護者アンケート，ご協力ありがとうございました。

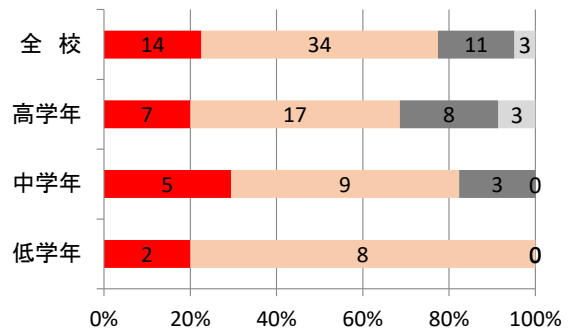
学校評価や2学期の取組に生かすため，保護者の皆様にアンケートを取らせていただきました。大変お忙しい中ご協力ありがとうございました。結果につきましてお知らせします。

1 お子さんは，明るく元気な挨拶をしている。

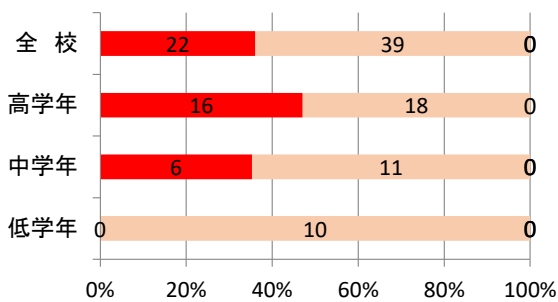
■ よくあてはまる ■ だいたいあてはまる
■ あまりあてはまらない ■ ぜんぜんあてはまらない



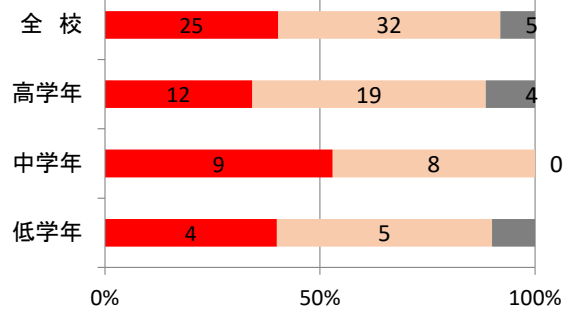
2 お子さんは，家で規則正しい生活をしている。



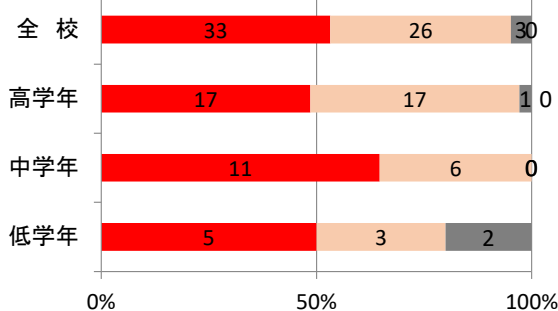
3 子ども達は校外で安全に気をつけて行動している。



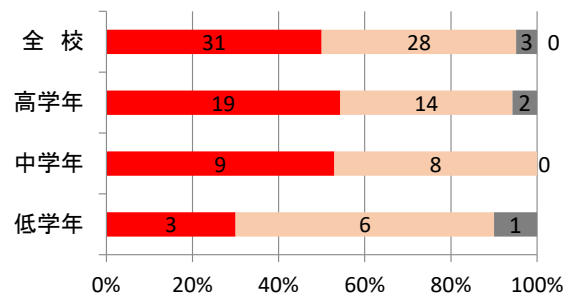
4 児童に学力をつけるような教育活動がすすめられている。



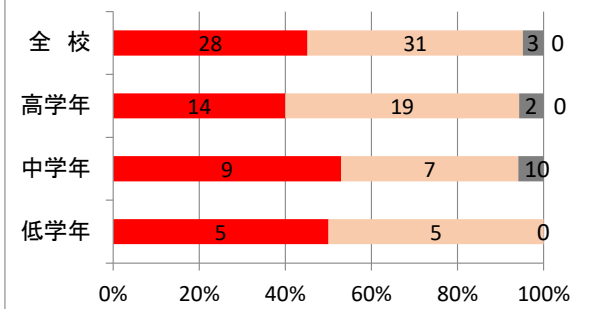
5 本校は，人を大切に思い周りに感謝するやさしい心を育てている。



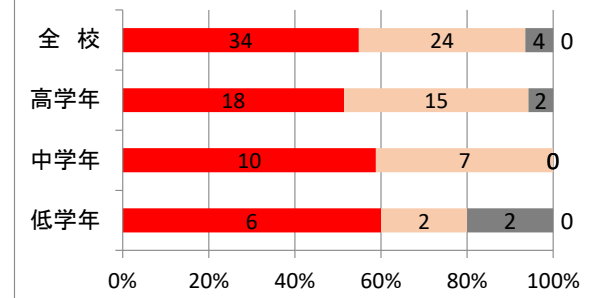
6 いじめや生徒指導上の問題などに対して学校として責任をもって対応している。



7 本校は、子供達の体力を向上させる取組が進められている。



8 学校だよりや学級通信、HP等を通じて情報を発信し、家庭や地域と連携している。



アンケート項目2の「お子さんは、家庭で規則正しい生活をしている。(早寝・早起き・朝ごはん・メディアコントロール等)については課題に感じられている保護者の方が多くいらっしゃいました。「げんきっす週間」で取り組みましたとおり、「就寝時刻」、「起床時刻」、「朝ごはん」、「メディア」、「運動」、「歯みがき」の6項目につきましては、音戸中学校校区小中一貫教育として、音戸中学校、波多見小学校とともに取組を続けています。基本的な生活習慣の確立に向けて、ご家庭での声かけとご協力をお願いいたします。また、アンケート項目1の「お子さんは、明るく元気な挨拶をしている。」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、指導が難しい面もあったように思います。適切な挨拶の仕方について引き続き指導してまいります。

また、保護者の皆様から次のとおり貴重なご意見をいただきました。

- ・ 挨拶はしているが「明るく元気な」がいまいちです。(我が子を含めです)こちらからも元気に挨拶すればよいですが、反応が薄いのでちょっと躊躇してしまいます。個人的には5の部分をもっと育てていきたいです。周りの人(先生・友達・上下関係・地域の方・親など)にお世話になっている、おかげさまの心が育ってほしいです。
- ・ 児童のマスク着用を自由にしてほしい。給食の黙食ももうやめてほしい。
- ・ 毎朝記入している健康観察カードですが、意味があるのか?毎日疑問に思いながらしています。
- ・ 学校からのお知らせはプリントで配布してほしい。または、子供のタブレットより保護者のEmailに添付していただくといつでも見られて助かります。
- ・ 暗唱がなくなって残念です。
- ・ タブレットの学級通信になると、見る機会が少なくなりました。今日の時代にはダメかもしれませんが・・・紙の方が見やすくいいです。
- ・ 日々感謝いつもありがとうございます。
- ・ お疲れ様です。いつもありがとうございます。暑い中いつもバスの送迎をしている姿をみては感謝の気持ちで一杯です。子供が毎日楽しく通えているのも先生方の御陰です。これからもよろしく願います。

マスクの着用や黙食、健康観察カード(入校時の健康観察)につきましては、「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～(2022.4.1 Ver.8)」のレベル2の行動基準に基づき、呉市教育委員会の指導のもと、取り組ませていただいております。マスク着用や黙食、入校時の健康観察をしなくてよい日が来ることを私も祈っております。また、学校だよりや学級通信等のタブレット(ロイロノート)配信につきまして、見る機会が減るとのご意見をいただきました。SDGsの流れの中、業務改善やコスト削減を図るためのペーパーレス化の一環で、今年度より取り組ませていただいております。写真や図がカラーで見られるのでよいとお声もいただいております。是非、保護者の皆様におかれましては、毎日(のように)お子様のタブレットを手にとって、学校からの配布物に目を通していただきたいと思います。

※ 保護者の方から子供がタブレットを見せたくないといったお声もいただいております。見せたくない理由がお子様にあるのかもしれませんが。「タブレット活用のルール」について確認して、何か気になることがございましたら、遠慮なく担任にご相談ください。保護者の方がタブレットを手にとることが不適切な使用の抑止につながります。